

取中 取中の未来 通信

国語 数学 社会
理科 英語 音楽
美術 技 家 保体

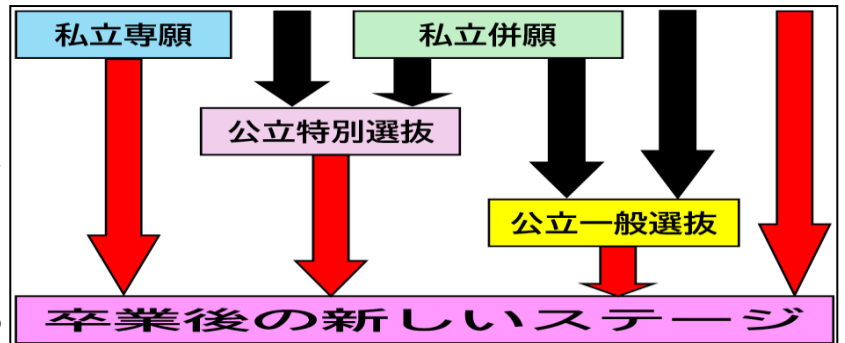
今週、3年生は私立高等学校の受験が、そして1・2年生は復習テストが実施されました。3年生のみなさんは特に心身ともに疲れたと思います。今週末は少しホッとしてもいいのかな、と思います。そして、受験生のみなさんの第一の応援団の保護者のみなさまもお疲れさまでした。また、これから第1志望に挑戦するみなさんと保護者のみなさまにとってはこれからは正念場になりますね。体調を崩すことなく乗り切って欲しいと思います。

■進路が決まってく中での『選択』

多くの52期生が「入試」を終え、続々と結果が手元に届いているころだと思います。進路が決まったみなさん、本当におめでとう、これ以上の言葉はみつかりません！自分自身が努力したことに対して褒めてあげよう。君たちを支えてくださったお家の方々への感謝の気持ちを伝えよう。

そして、忘れてはならないのが、まだまだ多くの仲間が公立受検を控えているということと、第一希望での進路決定にならなかった仲間もいるということです。この3年間、様々な行事や学校生活にしっかりと取り組んできた52期生にとって杞憂である

と思いますが…。先に進路が決まったみなさん、浮かれる気持ちはわかりますが、これから新しいステージに向けての時間をどのように過ごすのかという『選択』を誤らないでくださいね。赤い矢印が長いほど、自ら考動して、『選択』する時間が長いことをあらわします。AI時代ともいわれますが、AIには不可能で人間が得意とする能力の1つに『選択力』があります。次のステージに立つまでの残された時間をどう過ごすか、つまりどのように時間を使うかの『選択』を大切に！



■1日に約3万5000回！？

私たち人間は、1日に約3万5000回、何かしらを選択し、決断すると考えられています。(ケンブリッジ大学の研究より) 言語・食事・交通といった事柄だけでも1日平均2万回以上も選択しており、これに歩くや座の身体的動作の選択、さらに学校(仕事)や帰宅してから行っている選択まで含めると、約3万5000回に及ぶそうです。

「何が自分自身にとって幸福なのか」という選択を迫られた時、それぞれが持っている価値観が大きく左右し、いくらAIに相談したところで、自分にとって何が幸せなのかを見極めることはできません。これから選択過多の時代を生きる中学生にとっても、私たちにとっても『選択力』は必要不可欠であり、人間がAIに勝る部分をどう生かすかが大切な時代を迎えているともいえますね。

■史上初の「2都市共催」

イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで現在開催されている冬季オリンピック。最大の特徴は、オリンピック史上初めて2つの都市名を正式に冠した共催大会であることです。約250km離れた2つの拠点を中心に、北イタリアの広範囲を活用することで、既存施設を最大限に利用し、環境負荷とコストを抑えた『次世代のオリンピック』をめざしています。

8時間の時差がありますが…、応援しています！「頑張れニッポン！！」

